



夢風 YUMEKAZE



10 年に 1 度の美しさといわれた紅葉も散り、風の寒さが身にしみる季節となりました。今年も残すところあと 1 か月です。今号は 2 年生の修学旅行を中心に紹介していきます。

*夢風カラー版(PDF ファイル)→ <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp/>

*ご意見・ご感想(電子メール)→ yumekaze@toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp



ニュース News

修学旅行

2 年生は 10 月 15 日～19 日、4 泊 5 日の日程でマレーシア修学旅行を体験してきました。初日は、例年よりも朝早い出発でしたが、多くの保護者に見送られ豊田スタジアムからセントレアに向かいました。約 7 時間の飛行後無事クアラルンプールに到着しました。

2 日目は市内観光でした。新王宮、バツ洞窟(ヒンドゥ教の聖地)、独立国家記念碑、テキスタイルミュージアム、チョコレート工場の見学、買い物、夕食は KLCC のフードコートで各自で注文して食べる経験をしました。

3 日目、国際交流の一環でメインイベントのチェラス中等学校との交流をおこないました。予想以上の熱烈歓迎に驚きの表情をしていた生徒達もセレモニーが進むにつれてその温かな雰囲気を堪能していたようでした。両校の校長、生徒代表挨拶のあと歓迎の踊り、日本語の曲の合唱、楽器演奏を披露していただきました。お返しに

本校からは昨年度から温めてきた「校歌の 3 部合唱」と「剣道形」の披露で応えることができ、後でお褒めの言葉を頂きました。グループ交流に加え、スポーツ交流、加えて今年は料理交流も実施し例年になかった交流ができたと思います。楽しい時間はあっという間に過ぎ後ろ髪をひかれる思いでチェラス校を後にしました。午後はイスラム教最大のブルーモスクをイスラムの流儀で見学して一日が終了しました。

4 日目、現地学生との交流行事である B&S(現地の大学生との市内散策)です。朝、ホテルで自己紹介後各班の予定に従ってクアラルンプール市内の観光・散策を実施しました。最初はなかなかコミュニケーションが難しく、もどかしい思いをしていた生徒達も、身振り手振りを交えて交流する中で最後には記念写真を撮ったり、別れを惜しむ場面がみられ、交流の成果が実感できたと思います。

その後帰国の準備、飛行機の乗り継ぎとめまぐるしい日程をこ



なし深夜便で出発、5 日目の朝無事に帰路につきました。多くの生徒が海外旅行は初めてであり、家族と離れ友達と生活するという経験の中で日本の良さを再認識したり、家族の温かさを改めて感じたりすることのできる良い機会となったと思います。そういう点で国際交流の最大の目玉である修学旅行は成功したと実感しています。

(第 2 学年 学年主任)

球技大会

10 月 30 日(水)球技大会が行われました。男子の種目はサッカー、バスケットボール。女子の種目はドッジボール、卓球、テニス、バレーボールです。試合に臨む姿がすばらしかったことはもちろんですが、試合前の練習やチームが一丸となって団結する姿も熱がこもりスポーツマンらしい爽やかなものでした。また、一生懸命応援する姿や観戦する姿勢も礼節を忘れず立派な態度でした。どの生徒も勝敗を超えて得るものがあった 1 日となりました。



高校生 F 級グルメ甲子園 in 三ヶ日

11 月 3 日(土)、静岡県浜松市で「第 2 回高校生 F 級グルメ甲子園」が開催されました。今年度も調理・栄養プランの 3 年生 5 名が「米粉とジャガイモのもちもちパンケーキ」で出場しました。豊田市産ミネアサヒの米粉を使ったパンケーキは好評で、強風でコンロの火が何度も消える中、約 1 時間半で 150 食を販売しました。残念ながら入賞はできませんでしたが、生徒は「大変だったけれど、パンケーキを買ってくださり、うれしかった。」「おいしかったから、また買いに来たよ」といって再び買い求めてくれた人もいて、大きな声でありがとうございますと言いました。」と感想を言っていました。前日の 11 月 2 日(金)に中日新聞に掲載された記事を見た方が豊田から電車に乗って応援に来てくれたという、うれしい出来事に生徒は胸が熱くなりました。



部活動の風景 Scenery of Club Activities

JRC 部

JRC(Junior Red Cross)とは青少年赤十字のことで、赤十字の精神に基づき、奉仕活動を行っています。近年は地域貢献活動に力を入れており、お年寄りから子供まで幅広い世代の方々との交流を通して、人の役に立つ喜びを実感したり、コミュニケーション能力を磨いたり、普段学校では学ぶことのできない多くのことを学んでいます。他にもエコキャップ運動や募金活動など、様々な活動を通して少しでも地域に貢献できるよう頑張っています。

